

人事院会議議事録

会議日

令和3年7月19日 月曜日

会議の出席者

川本総裁 立花人事官 古屋人事官
(幹事) 松尾事務総長、柴崎総括審議官
(説明員) 岩崎事務総局審議官、植村企画法制課長
合田職員福祉局長、西人材局長、佐々木給与局長

議題

令和3年人事院勧告時報告①

議事の概要

- 議題「令和3年人事院勧告時報告①」について、担当局から「公務員人事管理に関する報告」の文案の概要の説明があった。
- これに対し、以下のような意見があった。
 - 「1 人材の確保及び育成」関係
 - (1) 志望者拡大に向けた取組
 - ・ 目的をより具体的に書けないか。
 - (2) 「デジタル区分」の新設等
 - ・ デジタル庁で、量・質ともに今までと異なる民間人材の採用が行われることについて、行政全体としてその経験を共有し、今後の公務員制度の在り方を考えていくことが必要。
 - (3) 民間との人材の交流
 - ・ 任期付採用の承認の基準化について、その内容を分かりやすく記述してほしい。
 - (4) 女性の採用及び登用の促進
 - ・ 昨年までの取組とどう違うのか、本年度何をするのかをより明確にできないか。
 - (5) 研修を通じた人材育成
 - ・ マネジメント研究について、何を变え、どうカリキュラムを充実させるのか、具体的に記述できないか。

「3 良好な勤務環境の整備」関係

(1) 長時間労働の是正

- ・ 人事担当課長の聴取だけで終わりではなく、各府省の取組状況を踏まえつつ、組織全体としての取組を促していくことが大切ではないか。
- ・ 指導の強化のため、増員要求も必要ではないか。
- ・ 国会対応業務の改善は喫緊の課題との声大きい。

(2) テレワーク等の柔軟な働き方に対応した勤務時間制度等の研究

- ・ デジタイゼーションのみではなく、デジタルトランスフォーメーション等により仕事のやり方そのものが変わっていくことも重要ではないか。

「4 定年の引上げ及び能力・実績に基づく人事管理の推進」関係

(2) 能力・実績に基づく人事管理の推進

- ・ ウェブを活用した面談も重要ではないか。
- ・ 評価者向け研修についても、PDCAの観点から、従来の取組をどう評価し、昨年と比べてどう進歩・変化しているのかが見えるように書けないか。

○ 議題については、会議における指摘を踏まえて文案を修正し、改めて人事院会議に諮ることとされた。